

●●●2023年7月～9月期 栃木県中小企業景況調査(177回)●●●

【栃木県D I 指数天気図】

今期(県内全体)の業況

D I 値
-10.0
※全国 -12.8

業況

県内全体の業況（DI値）は、前期(4-6月期)と比較し横ばい(-9.7→-10.0)となり、2期連続で全国平均を上回る結果となった。また、業種別に見ると建設・小売では悪化したものの、製造・サービス業では改善が見られた。

仕入単価は、製造業で88.5ポイント、建設業で65.0ポイント、小売業で72.5ポイント、サービス業で83.0ポイントと各業種で高止まりが続いているが、来期は全ての業種で改善する見込みである。

来期は、サービス業が3.9ポイントの悪化の見込みであるが、建設業は横ばい、製造業は5.4ポイントの改善、小売業では14.2ポイントの大幅な改善が見込まれており、県内全体の業況も6.0ポイントの改善となる見込みである。

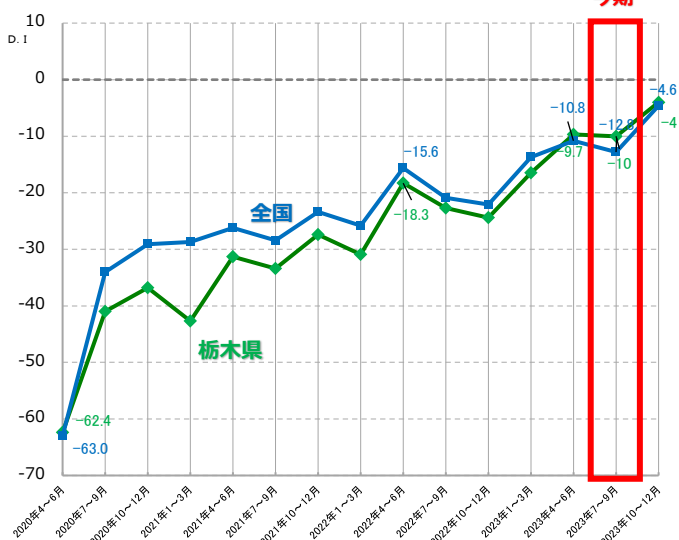
～天気図の指標～

現状	良い	やや良い	やや悪い	悪い	とても悪い
天気図					
D I 値	15.1～	15～0.1	0～-15	-15.1～-40	-40.1～

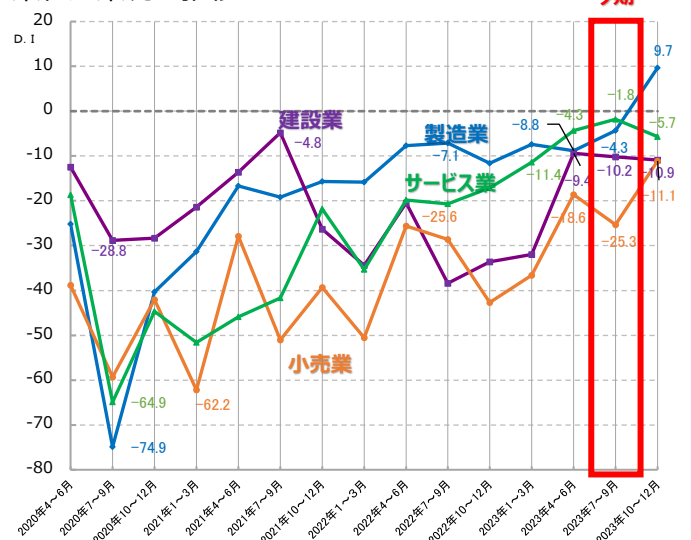
業種	項目	今期(全体)	売上額	仕入単価※	採算	資金繰り	来期予想(全体)
製造業							
	D I 値	-4.3	27.6	88.5	-3.5	-20.7	9.7 (↗)
業況：前期から4.5ポイント改善し、来期も5.4ポイントの改善見込み							
建設業							
	D I 値	-10.2	-40.0	65.0	-20.0	-20.0	-10.9 (→)
業況：前期から来期にかけほぼ横ばいも、仕入単価は改善傾向							
小売業							
	D I 値	-25.3	-14.7	72.5	-46.3	-19.5	-11.1 (↗)
業況：前期から6.7ポイント悪化、来期は14.2ポイントと大幅改善の見込み							
サービス業							
	D I 値	-1.8	25.5	83.0	-8.7	-3.4	-5.7 (→)
業況：前期から2.5ポイント改善、来期は3.9ポイント悪化も仕入単価が改善の見込み							

※仕入単価はプラスになるほど悪化となります

全国と栃木県の業況の推移

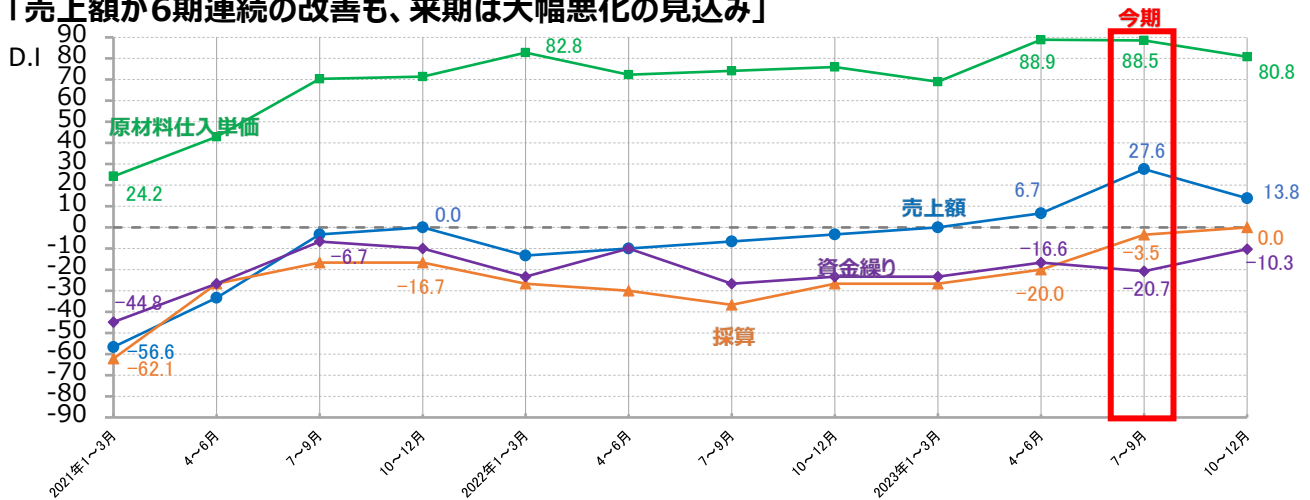


業種別業況の推移



製造業

「売上額が6期連続の改善も、来期は大幅悪化の見込み」



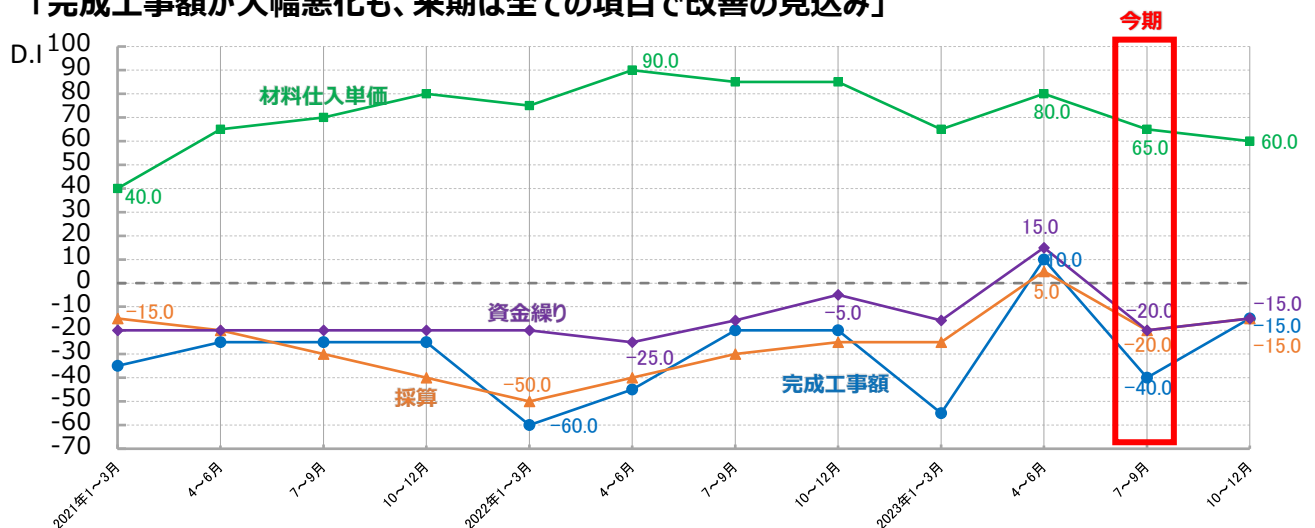
「売上額」は20.9ポイント (6.7→27.6) の大幅改善となり、6期連続の改善となったが、来期は13.8ポイント (27.6→13.8) と大幅悪化の見込みである。「採算」は16.5ポイント (-20.0→-3.5) の大幅改善となり、4期連続の改善となった。来期も3.5ポイント (-3.5→0.0) の改善が見込まれる。高止まりが続く「原材料仕入単価」は、0.4ポイント (88.9→88.5) の横ばいとなった。来期は7.7ポイント (88.5→80.8) の改善見込みとなるものの、依然として高止まりは続く見込みである。

「資金繰り」は4.1ポイント (-16.6→-20.7) の小幅な悪化となった。来期は10.4ポイント (-20.7→-10.3) の大幅改善の見込みとなっている。

- 【経営上の問題点】 第1位： 原材料価格の上昇 (31.6%) 第2位： 需要の停滞 (16.5%)
 第3位： 生産設備の不足・老朽化 (7.6%) 第4位： 従業員の確保難 (7.6%)

建設業

「完成工事額が大幅悪化も、来期は全ての項目で改善の見込み」



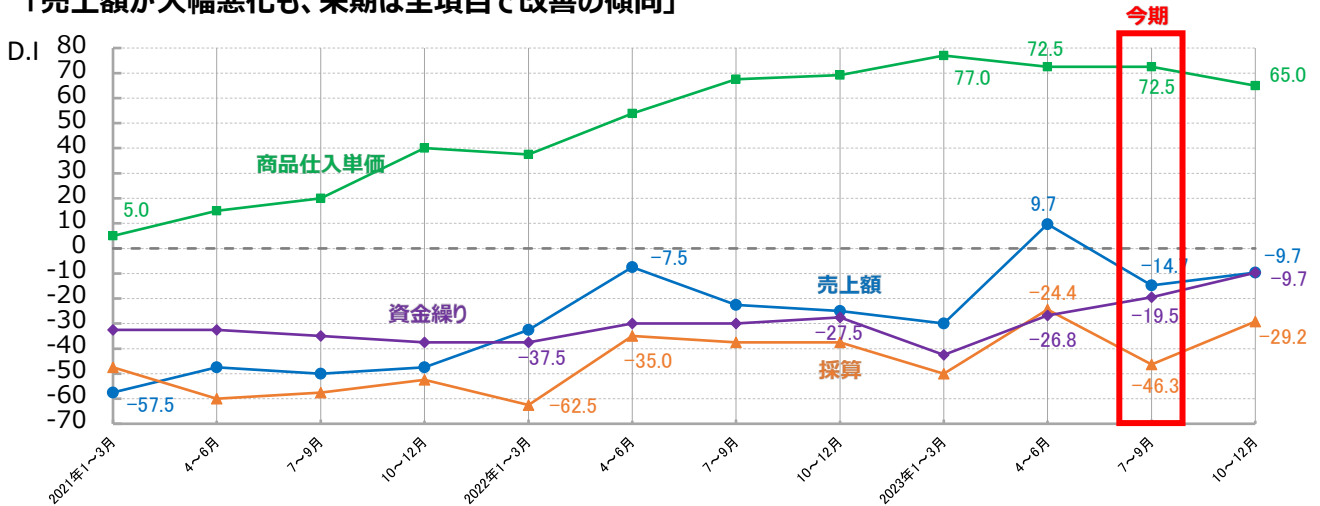
「完成工事額」は、50.0ポイント (10.0→-40.0) の大幅悪化となったが、次期は25.0ポイント (-40.0→-15.0) の大幅改善となる見込みであり、不安定な状態が続く。

「資金繰り」は「完成工事額」に比例する形で増減しており、今期は35.0ポイント (15.0→-20.0) と大幅な悪化となった。来期は5.0ポイント (-20.0→-15.0) の改善を見込んでいる。「採算」についても同様の傾向が見られ今期は25.0ポイント (5.0→-20.0) と大幅な悪化となったが、来期は5.0ポイント (-20.0→-15.0) 改善の見込みである。「材料仕入単価」は、今期15.0ポイント (80.0→65.0) の大幅な改善となった。来期も5.0ポイント (65.0→60.0) の改善が見込まれる。

- 【経営上の問題点】 第1位： 従業員の確保難 (28.6%) 第2位： 材料価格の上昇 (22.9%)
 第3位： 大企業の進出による競争の激化 (5.7%) 第4位： 材料の入手難 (5.7%)

小売業

「売上額が大幅悪化も、来期は全項目で改善の傾向」



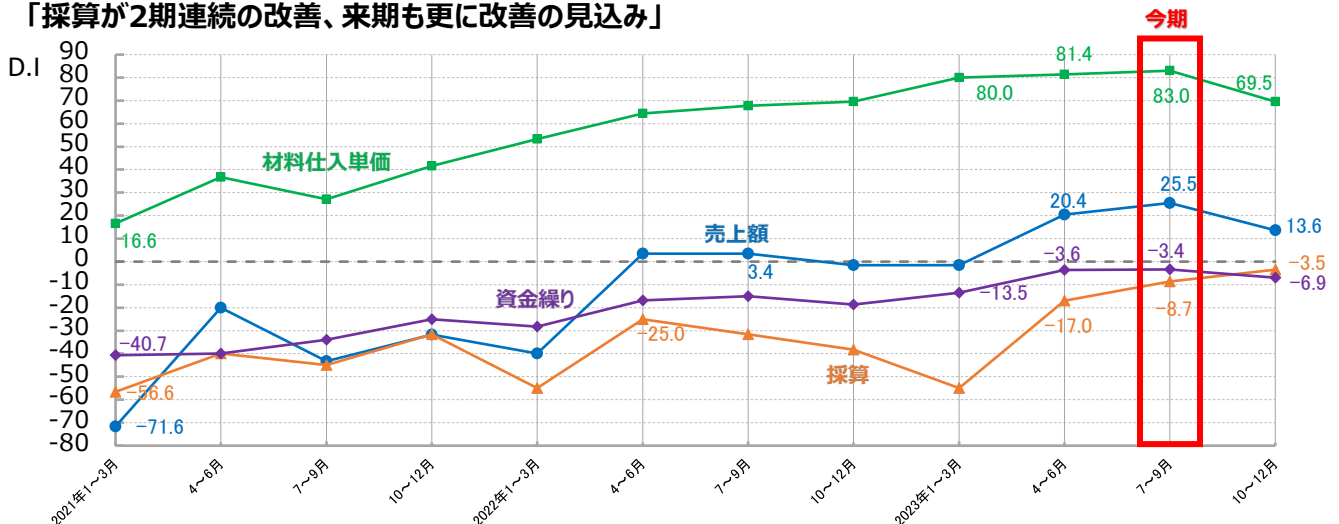
「売上額」は、24.4ポイント（9.7→-14.7）の大幅悪化となった。来期は、5.0ポイント（-14.7→-9.7）の改善となる見込みである。「商品仕入単価」は、横ばいとなった。来期は、7.5ポイント（72.5→65.0）と改善が見込まれるものの、依然として高止まりが続く見込みである。

「採算」は、21.9ポイント（-24.4→-46.3）の大幅悪化となったが、来期は17.1ポイント（-46.3→-29.2）の改善となる見込みである。「資金繰り」は、7.3ポイント（-26.8→-19.5）と2期連続の改善となった。来期も9.8ポイント（-19.5→-9.7）の改善が見込まれる。

- 【経営上の問題点】 第1位：仕入単価の上昇（26.7%） 第2位：需要の停滞（18.3%）
 第3位：人件費以外の経費の増加（10.0%） 第4位：大・中型店の進出による競争の激化（8.3%）

サービス業

「採算が2期連続の改善、来期も更に改善の見込み」



「採算」は8.3ポイント（-17.0→-8.7）と2期連続の改善となった。来期も5.2ポイント（-8.7→-3.5）の改善が見込まれる。それに比例し「売上額」も、5.1ポイント（20.4→25.5）と改善したが、来期は11.9ポイント（25.5→13.6）の悪化が見込まれる。

「資金繰り」は横ばい（-3.6→-3.4）となったが、来期は3.5ポイント（-3.4→-6.9）の悪化が見込まれる。悪化傾向にある「材料等仕入単価」は、今期も1.6ポイント（81.4→83.0）と小幅ではあるが悪化となった。来期は13.5ポイント（83.0→69.5）と大幅に改善するも、高止まりが続く見込みである。

- 【経営上の問題点】 第1位：材料等仕入単価の上昇（33.7%） 第2位：利用者ニーズの変化への対応（10.9%）
 第3位：従業員の確保難（9.8%） 第4位：人件費以外の経費の増加（8.7%）

調査要領

○調査の目的

中小企業景況調査は、全国の商工会地区に地域経済観測点を設置し、地域の産業の状況や経済動向等について、一定時期ごとに変化の実態諸情報を迅速かつ的確に収集・提供して、経営改善普及事業の効果的实施に資するものとする。本報告書は、栃木県内商工会地区における、「製造業」「建設業」「小売業」「サービス業」の4業種を、主要景況項目(売上額・原材料仕入単価・採算・資金繰り)から分析し、景況情報をまとめたものである。

○調査対象地区（栃木県商工会地区）

矢板市・下野市・足尾町・益子町・茂木町
市貝町・壬生町・藤岡町・喜連川・那須塩原市

○調査時点

2023年9月1日

○調査対象期間

2023年7月～9月期の実績及び、2023年10月～12月期の見通しについて調査

○調査方法

商工会の経営指導員による訪問調査

○回答企業数内訳

業種	回答企業数	構成比(%)
製造業	29	19.5%
建設業	20	13.4%
小売業	41	27.5%
サービス業	59	39.6%
合計	149	100.0%

※D I 指数とは

報告書に登場するD I 値とは、デフュージョン・インデックス(Diffusion Index = 景気動向指数)の略であり、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合から減少(低下・悪化)企業割合を差し引いた値を示すものである。

D I 値がプラスのときは業況の好転、マイナスのときは業況の悪化を示すことから、景気の動向を判断する指数として利用される。また、D I 値は強気・弱気など、景況感の相対的な広がりを示すものであり、売上額などの実数値の上昇率とは異なる。

たとえば、今期の売上額を前年同期と比較した結果、増加企業が50%、不変企業が30%、減少企業が20%となったとすると、D I 値は $50 - 20 = 30$ となり、売上額に対して強気の度合いを示している。



編集：栃木県商工会連合会 企業支援課

発行所：栃木県商工会連合会 栃木県宇都宮市中央3丁目1番4号

次の100年も
ここに商工会

TEL 028-637-3731・FAX 028-637-2875